

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2830地区
2024-25年度 ガバナー月信



4月17日クラブ活性化セミナーにて。次年度ロータリーコーディネーターの田中久夫D2840PG(左から2番目)と補佐を務める予定の3名(左から大高司郎D2820DG、花田、鶴見誠一郎D2500PG)

Contents

- ・巻頭言
- ・今月のガバナーメッセージ
- ・ロータリー特別月間
- ・地区委員長紹介
- ・会長エレクト研修セミナー

- ・2025年度カウンセラー・新米山奨学生オリエンテーション
- ・中グループインターシティ・ミーティング
- ・各クラブの動き
- ・会員動向

国際ロータリー第2830地区事務所

〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内

TEL.0173-732-2830/FAX.017-732-2831

E-MAIL rid2830@outlook.jp

巻頭言



この月信が発行されるころにはソメイヨシノも葉桜となり、白く可愛いりんごの花が咲く季節となっているかと存じます。ゴールデンウィークを目前に控え、ロータリアンの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、前月号発行の後の出来事を振り返りますと、3月29日には中グループのIMに参加いたしました。「奏海の会」の相馬信吉会長による明治、大正、昭和初期の古い写真や映像から、当時の青森市の様子が数多く紹介されました。昭和11年ころの「雪切り」の映像には驚かされました。地域の歴史を学んで未来を議論することの大切さを学ぶ貴重な機会でした。

4月5日は十和田ロータリークラブ65周年、4月12日は十和田東ロータリークラブ60周年の記念式典と祝賀会に参加いたしました。どちらも台湾の姉妹クラブからたくさん

の会員とご家族がお越しになり、華やかな祝賀会となりました。(16～19頁参照)また、4月19日には八戸南ロータリークラブの50周年、こちらは韓国、南浦項の姉妹クラブのメンバーが駆け付け、盛大に祝賀会を行いました。

4月6日は2650地区の地区大会へ。京都、福井、滋賀、奈良の4県をテリトリーとし、日本最大の96クラブ、会員数は約4700名という大きな地区です。千玄室元RI理事も元気に参加されていました。奈良RCの中本勝ガバナーは同期唯一の同業者でもあるため、さくら満開の奈良に応援に行った次第です。4月20日にはおとなり2520地区(岩手・宮城)の地区大会にも夫婦で参加してきました。昭和8年の日本全域(当時は台湾、韓国、満州も含みます)の地区大会の貴重な映像に、佐藤剛ガバナーの解説が素晴らしかったです。この



原稿は4月24日、東京2580地区の地区大会へ向かう機内で書いています。同期ガバナーの議長は、東京の2地区が毎年交替で務めるのですが、我々の期は東京北部と沖縄県をテリトリーとする2580地区、石川彌八郎ガバナーです。

25日に熊本の地区大会へ参加すると、同期の地区大会はすべて終了します。各地での歓待、改めて感謝申し上げます。数えてみると、自分の地区も含めて、17地区(34地区のちょうど半分です。)の地区大会に参加いたしました。それぞれの地区やガバナーの個性あふれる地区大会を見せていただきました。

4月13日は2025年度の新規米山奨学生11名のオリエンテーションでした。セレモニーと

米山奨学生制度のしっかりとした説明の後、カウンセラーのロータリアンと初めて親しく話す機会でもあります。軽食が用意された懇親会の時間になると、奨学生たちも少しリラックスして会話もスムーズでした。日本と母国の架け橋になれるよう、多くの経験をしてほしいと思います。

4月17日、18日は東京でクラブ活性化セミナーに参加して参りました。ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーを中心に、多くのシニアリーダーが参集し、最新の

ロータリー情報を共有して、クラブの活性化につなげるセッションが開かれます。次年度第1地域のロータリーコーディネーター補佐予定者として、運営のお手伝いをしながら、多くの学びを得る貴重な機会となりました。

こうしてみると、4月もロータリー三昧の1か月を過ごしたような気がします。その時々世相をご紹介するのが巻頭言なのですが、ほぼロータリーの話が占めております。

残り2か月、まだまだ地区行事が続きます。カルガリー国際大会も近づいて参りました。最後まで駆け抜けたいと思っておりますので、ロータリアンの皆様のご協力を改めてお願い致します。



今月のガバナーメッセージ

地区クラブ活性化ワークショップ 開催報告を兼ねて

ガバナー 花田 勝彦



4月26日、ホテルサンルート五所川原にて、当地区初めての試みとなる「地区クラブ活性化ワークショップ」を開催しました。ゴールデンウィークスタートとなるこの日、お忙しい中、本会議78名、懇親会59名の登録をいただき、感謝申し上げます。特に、第2540地区(秋田県)から、大曲ロータリークラブ所属の地区会員拡大増強委員長である今野宏様にもご出席いただき、会員増強の取り組みについてのご報告をいただいて、一緒に会員増強を目指す意欲を持たれたことは、大きな成果だったと思います。

本来、ワークショップですので、参加者の皆様が円卓を囲んで話し合いをして、理解を深めることをイメージしていた(そのために各テーブルにファシリテーターを配置していた)のですが、多くの報告者からの報告等で時間がなくなり、質疑応答や、テーブルディスカッションの時間を取ることができませんでした。大変申し訳ございません。次年度は改善して下さることを期待しています。

セッション1では、「クラブ活性化のための会員増強の取り組み」と題して、今井高志地区戦略計画委員長進行のもと、地区内の会員数の状況を私から概略的に説明いたしました。次いで、4名のガバナー補佐と十和田東RC金沢会長エレクト、板柳RC工藤副会長から各グループ、クラブの状況を発表していただきました。十和田東RCは60周年に向けた会長の意気込みを、板柳RCでは10名の会員から

2名の女性会員を入会してもらったことの経緯についてお話がありました。ほかにも会場発言で会員増強に成果をあげている八戸南、十和田八甲、五所川原RCから、クラブの実情について発表していただきました。出席が叶わなかったクラブの方にも、プログラムと配布資料、当日のパワーポイントをメールでお送りします(あわせて、地区のホームページにもアップします。)ので、是非参考になさってください。

次いで、クラブを活性化するために正会員





を多様化することの提案と題して、私から、これまでの地区戦略計画委員会で検討してきた①家族会員、②後継者会員、③シニア会員、④法人会員、⑤特別会員について、その意義とクラブ細則の規定案を提案しました。



その後、今野宏第2540地区会員拡大増強委員長からの取組報告、最後に、山崎淳一地区ラーニングファシリテーターから、セッションのまとめを兼ねた法人会員と6月30日退会問題の克服についての報告がございました。

セッション2では、「クラブを元気にする3Year Rolling Goals」です。私から3Year Rolling Goalsの内容と位置付けを説明した後、米谷GE、成田GNからもクラブ会長エレクト、会長ノミニーに向けたメッセージをいただきました。その後、クラブでの3Year Rolling Goalsの取り組みについて、むつ中央RC柴田会長、十和田八甲RC岩間会長エレクトから発表していただき、会場発言で五所川原、野辺地、十和田東RCからもご発言をいただきました。他クラブで3Year Rolling Goalsがどの程度進んでいるかが分かったと思います。

セッション3では、沼田廣PGから、先日アメリカで開かれた規定審議会で可決された制定案のうち、特に地区やクラブの運営に関係する部分についてご報告をいただきました。閉会式では、成田秀治、木皮美香、吉田賢治の3名の方をポリオ・プラス・ソサエティとして表彰することができました。八戸南RC

では、50周年を記念して、5名のPPSが誕生しました。皆様のクラブでも是非PPS、さらにはポールハリス・ソサエティへと進んでいただきたいと思います。

懇親会ではポリオ委員会の寄付と能登ワインを飲んで能登の復興を支援する支援金の寄付を募りました。能登への支援金は13,000円でした。ありがとうございました。

公式訪問を通じて、私は、他のクラブが様々な工夫をしてクラブ運営や会員増強に取り組み、奉仕活動を実践している姿を目の当たりにしてきました。それぞれのクラブの工夫を、他のクラブの方と共有し、自分のクラブに取り入れられるものは取り入れてクラブを活性化してほしいと願っていました。

そのために各クラブで行っている奉仕活動をガバナー月信で紹介したり、折に触れては発信してきたつもりです。今回地区クラブ活性化ワークショップで、会員増強と3Year Rolling Goalsについて、取り組みが成功しているクラブの状況を発表し、これからのクラブはそれを参考にして、クラブに戻って行動に繋げていただくことができれば、望外の幸せです。

多くの人に発表していただくことで、その人にとって主体的にセミナーに参加する機会となります。できればその後テーブルごとのグループディスカッションを経て、参加者ひとりひとりにテーマについて考える機会を持っていただく。そうすることで、セミナーの後、この話し合いをどう活かすのかを考え、



実践に移していく人が増えていくのではないかと思います。

今回は、伝えたい部分が多すぎて、講演部分が思いのほか時間がかかってしまいました。発表者の発言時間についても、もう少し管理すべきところもあったかも知れません。それでも自分なりの研修のカラーを出せたのではないかという自負もございます。事前の準備はもとより、当日は朝5時に起きて熊本の地区大会から羽田経由でサンルートに直行して頑張った甲斐がありました。

これから次年度の地区研修・協議会もごさいいます。参加者のやる気を引き出し、課題をクラブに持ち帰って行動に移してもらうことがセミナーの目的です。そのための究極的な形が参加型のRLI方式と言われるファシリ



テーションです。5月24日には地区RLIも予定されています。これからも、ロータリアンの主体的なラーニングのリソースとなるようなセミナーを目指していきたいと思っています。

ポリオ募金 お礼

4月26日開催されました、地区クラブ活性化ワークショップにおいてポリオプラス委員会で募金活動させていただきました。

総額48,000円となりました。ご協力ありがとうございました。

全て、ポリオワクチン代、現地で活躍しているヘルスワーカーの活動費、検査代となります。これからも、ご協力をお願いいたします。

11月8日(土)～12日(水) ポリオワクチン投与活動 INパキスタン(カラチ)

の参加者を募集しています。会員はもちろんですが、ご家族でも参加可能です。

子供達の可愛い笑顔が待っています!! ヘルスワーカーさんを励ましにいきましょう!!
ポリオプラス委員会または、国際奉仕委員会までお声がけ下さい。

次期ポリオプラス委員長 **木皮 美賀**
(五所川原イヴニングRC)





ロータリー特別月間

「青少年奉仕月間」

青少年交換事業 東北多地区合同 スプリングキャンプへの参加報告

青少年交換委員会 委員長 岡山 信広
(六ヶ所RC)

青少年交換委員長の岡山信広です。

今回は「2024-25年度 青少年交換プログラム 東北多地区合同 スプリングキャンプ」への参加報告をさせていただきます。

本行事はD2520(岩手宮城)・D2530(福島)・D2540(秋田)・D2800(山形)・D2830(青森)の5地区合同で開催され、主催はD2530(福島)でした。

参加対象者は「ガバナー」「青少年交換委員長」「来日学生(IBS)」「2025-26派遣候補学生(0BS)」「ROTEX」とされていました。

今回のスプリングキャンプの参加者は派遣

学生10名、来日学生5名、ROTEX 12名、ロータリアン30名の総計57名でした。そのうち、参加されたガバナーは、D2530からは早川啓介G、泉田征慶GE、金田昇GN、D2800からは伊藤三之PG(2023-24)でした。当地区からは地区委員長の私と次年度地区委員長の白鳥五大さん、IBSのWei-Min LEEくん(台湾、愛称:Leo)と、2025-26派遣候補学生(0BS)の村上さくらさん(黒石RC)、澤口菜月さん(八戸北RC)の5名で参加し、スケジュールは下の表の通りです。

月日	<1日目>3月22日(土)	<2日目>3月23日(日)	<3日目>3月24日(月)
スケジュール	12:00 集合・昼食 13:00 オープニングセレモニー 14:00 講義(I) 15:30 セッション(I) 17:00 OBS:決意表明準備、IBS:日本語スピーチ準備 18:30 夕食 20:00 学生交流会、ロータリアン情報交換会、ROTEXと翌日の打合せ 22:30 就寝	7:30 朝食 9:00 OBS:講義(II)、IBS:見学学習 10:00 セッション(II) 11:30 昼食 12:30 セッション(III) 14:00 日本文化を紹介しようI(風呂敷予定)・II(畳小物作成予定) 18:30 夕食 20:00 OBS 決意表明準備、IBS 日本語スピーチ準備 22:30 就寝	7:30 朝食 9:00 IBS スピーチコンテスト合同地区予選会 10:15 OBS 決意表明 11:15 クロージングセレモニー 12:00 昼食・食事後解散

このスプリングキャンプはOBS予定者の村上さくらさん、澤口菜月さんにとっては大変に過酷なもので、自己紹介スピーチ原稿の作成と練習が夜遅くまで行われ、二日目の夜はほぼ徹夜の学生もいました。その結果、初日のスピーチでは自信無さげだった学生が、三

日目最終日には大変に自信満々にスピーチしていました。

IBSのLeoくんは6月7日(土)のRIJYEM研究会青森会議でのIBS日本語スピーチコンテスト本戦に出場すべく日本語スピーチの発表を行い昨年の第一回日本語スピーチコンテスト



選考委員長である伊藤PGからの講評を受け、本戦出場への意欲が高まったと思われます。

私の感想は以下の通りです。

Leoくん、村上さん、澤口さんは本年1/26~1/28に山形・蔵王で開催された東北多地区合同ウィンターキャンプに参加しており、その時に知り合った友人であるIBSやOBS候補生と再会することが楽しみだったようで、往路の移動中にはウキウキしていました。



た。IBS/OBS/ROTEXの友情が育まれていく様子を側で見ていて大変に微笑ましかったです。

また、東北多地区合同の行事に参加することによりロータリアンの友情が育まれるとともに、ROTEXとも友情を育て、私はすごく「嬉し・楽し・(Rotary) 大好き」の三日間でした。

大変に有り難いことにロータリアン会議で、

2026-27年度のスプリングキャンプが当地区で開催される事となりました。

話は変わって、が6月7日(土)、8日(日)はRIJYEM研究会青森会議が開催されますが、本会議のスピーチコンテスト、基調講演、パネルディスカッションは参加無料ですので、全国のロータリアンとの交流をお楽しみ頂ければと存じます。

へばっ、まだの〜〜！





地区委員長の 横顔

Vol.4

こんにちは。地区のインターアクト委員長を拝命しております野辺地ロータリークラブ所属の松山隆志です。2002年5月に入会、あっという間にロータリー歴23年になっていました。実家の家業(旅館業)を切り盛していた両親も高齢になり「もうそろそろ」の気持ちで東京でのサラリーマン生活を終え野辺地に帰って暫くして、当時の先輩の強い強い勧めで入会いたしました。今考えれば「当時から新入会員を漁っていたんだなー」と見事に釣り上げられた自分を微笑ましくも思えます。

サラリーマン時代の前職でも少しだけロータリークラブに関わっていたため、知識としてロータリーについては大まかに知っていたつもりですが、いざ入会してみるとその奥の深さに驚きの連続でした。当時のクラブ内で囁かれていた「みんなで大いにロータリーを楽しみましょう」とともに「例会は人生の道場である」という言葉があることが印象的で、「入って良かったなー」と思い始めていたのも思い出されます。

ロータリーに入会以降、県内外はおろか国外へも数多く旅する機会を得ました。もともと「旅」が好きで、それまでも「多趣味」な自分は何かのきっかけを作っては方々を旅してきましたが、家業が「年中無休」「24時間業」を謳っている「旅館業」ということで、おおっぴらに旅することはちょっとだけ気が引けていました。ロータリーに入会してからは「メンバーと一緒に...」とか「〇〇の大会(研究会)があるから...」という理由が出来て「仕方がないけど行かなきゃ...」と家

一番の趣味は"旅行" かな...

インターアクト委員会 委員長 松山 隆志
(野辺地RC)

を空けることが多くなり、家族もそれなりに理解してくれているものだ」と「思っています」。

何年か前からクラブ内の有志で「年に一度どこかへ行こう」という仲間がおり、私も毎年それに加わることが出来ました。最初に参加したのが、カンボジアの世界遺産「アンコールワット遺跡への旅」でした。平和を取り戻したカンボジアを訪れ朝日の昇る遺跡を見学、当地の料理を満喫することができました。次の年はタイ国バンコクを訪問。各地の遺跡を巡り見学。国柄か「ニューハーフショー」も大いに楽しめました。翌年訪れたのがインド。世界遺産のタージマハルを見学したりタンドリーチキンを楽しんだりの旅でした。日中40度を超える日差しの中、車でいろいろな遺跡等を巡りましたが、あちこちの道ばたに「野牛(のうし)」が寝転んでいる姿にはビックリしました。次の年がベトナム。ハノイからホーチミンへと南北に長いベトナムの縦断でした。まだまだ戦乱の跡を残す各所でしたが、その復興に多くの日本の協力があるのを目にして心に残るものがありました。フォーをはじめ当地の料理はほとんどが口に合い大満足でした。このようにアジアを中心に各所を訪問してきましたが、多くの土地で驚いたのが「ロータリーマークに出会えた」ということでした。ぶらっと入った街角の店の壁にロータリーバナーが貼ってあり、店主に「我々もロータリアン」と声を掛けると、それなりに意気投合出来、何か一つ買い求める事になります。それに対して店主は「おまけするよ」と言ってくれ、良いコミュニケーションがはかれたと感じました("翻訳機"が

大活躍しました)。コロナ禍によりこの後はメンバーでの同行は途絶えてしまいましたが、機会を作って是非再開したいと願っています。

地区の委員会に携わるようになって、全国規模の大会や研究会に参加する機会も増えました。今まで訪れたことの無かった土地等へも積極的に訪問。行事等の終了後の時間等を使って各所を訪れています。熊本でくまモンの執務室、博多の屋台、四国の金毘羅宮、八十八ヶ所巡り、道頓堀の串揚げ屋台、神戸の異人館、奈良の鹿、新潟の利き酒などなど、興味の湧いたものは一生懸命体験することが出来ました。

海外へは、委員会事業であります「アクトの翼」事業へ。何年かその同行者として参加

しているうち、その企画を担当するようになり現在に至っています。地区内外でいろいろなロータリアンと接するうちに「国際大会」へも興味を持ち始め、昨年はオーストラリアメルボルンの大会へも参加させていただきました。

以上のように各地への旅行だけでも実現出来ているロータリーは、私にとって「やりたいことがたくさんある場」であり「やりたいことを実践できる場」です。これからも与えられた職務に関してはその達成に向けて精一杯努力するとともに、自分なりな「自己実現」のためにロータリーを「活用」させていただき、ロータリーを大いに楽しんでいきたいと思います。みんなでロータリーを楽しみましょう。



何気に入ったインドの雑貨屋さん。各国RCのバナーが壁面にぎっしり。この店主はいったい何者だったのだろう？



残念ながらくまモン部長は外出中でした。



奈良の鹿さんと記念撮影。(自撮りです)



オーストラリアと言えばここ。幸せいっぱいの松山でした。



PETS 開催報告

会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告

2025-26年度 PETS実行委員長 橘 正弘
(青森モーニングRC)



3月22日・23日の2日間、リンクステーションホール青森にて次年度に向けた会長エレクト研修セミナーを開催しました(出席者128名)。

1日目は、花田ガバナーの挨拶に続き、沼

田廣次期地区ラーニングファシリテーター(LF)より研修概要・日程の説明がありました。米谷恵司ガバナーエレクト(GE)から、国際協議会参加報告とマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトのメッセージ『UNITE FOR GOOD～よいことのために手を取りあおう』の紹介に続き、地区スローガン『ロータリーの不易流行』と基本方針『会員増強で地区・クラブの活性化を!!』が発表され、会員増強(会員数1,150名)を重点項目とする旨説明がありました。

基調講演は、地区LFの山崎淳一パストガバナー(PG)に第一部「会長就任までの準備」、第二部「ロータリーの本質」と題してご講演を頂きました。第一部ではMy Rotaryのリ



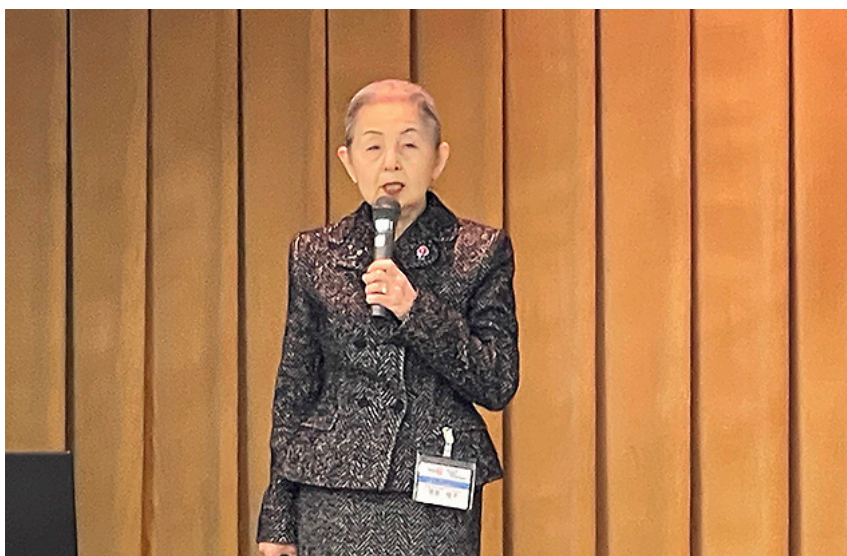


ソースの活用等会長エレクトとして準備すべき事項、第二部では①RIの歴史と変化、②ロータリーで出会った人々と言葉の紹介を通じて、「ロータリーの本質は奉仕と親睦の積み重ねである」旨の意義深いお話を頂きました。

続いて、沼田廣次期地区LFをコーディネーターとして、山崎PG、米谷GE、各グループのガバナー補佐を交えてのパネルディスカッション「クラブ会長・幹事のリーダーシップ」では、クラブ運営、会員増強についてのご意見、ご助言をいただきました。

初日の研修後にホテル青森で開催された懇親会では、座席をグループごとに配置し、同グループのガバナー補佐に同席いただき、グループ内でのクラブ間の情報交換・交流を深めていただきました。

2日目は、RI第2660地区パストガバナーの宮里唯子氏(茨木西RC)に「日本のロータリー



とDEI」と題した基調講演を頂きました。講演では国際社会と比較した日本のDEI認識の現状・改善点、インクルーシブなクラブの文化醸成に向けた方策等、貴重なお話を頂きました。続いて沼田廣次期地区LFをコーディネーターとして、講師の宮里氏、地区DEI推進委員会委員を交えてのパネルディスカッション「DEI導入によるクラブの活性化」では、各パネラーや女性リーダーの現状報告等も交え、DEI推進によってクラブの活性化、ひいては会員増強を推し進めることについての意識共有化を図ることができました。



7グループに分かれてのRLI形式による分科会では、「クラブを元気にしよう」をテーマに、ファシリテーターの進行のもと、クラブの現状分析とビジョン、クラブ活性化に向けた会長・幹事としての取り組み方針等、活発な意見交換が行われました。

花田ガバナーの全体会議所感に続き、最後に出席された会長エレクトに修了証が手渡され、中身の濃い2日間の研修を終了しました。

ご多忙の中、今般のPETSにご出席頂き、また運営に対しご協力を頂きましたロータリアンならびに米山奨学生の皆様に深く感謝申し上げます。

2025学年度カウンセラー・新米山奨学生 オリエンテーション開催

米山記念奨学委員 清藤 繁光
(五所川原RC)

去る4月13日(日)ホテル青森において、花田ガバナー、米谷ガバナーエレクトのご臨席のもと、『2025学年度カウンセラー・新米山奨学生オリエンテーション』が開催されました。

当日は、佐藤一尚米山記念奨学委員長による開会の言葉、奨学生11名とそれぞれのカウンセラーの紹介(別表1)で始まり、

- 1) 米谷ガバナーエレクトからのお祝いのことば
- 2) DVDによる米山記念奨学会の紹介
- 3) カウンセラーハンドブックの説明
- 4) カウンセラーへハラスメントの注意等
- 5) 確約書の説明と署名
- 6) 花田ガバナーによる米山奨学生バッチの授与と励ましの言葉

と進み佐藤玲恵子地区委員の閉会の言葉で終了となりました。

特に、昨今世間で問題となっているハラス

メントについては、前米山地区委員長の野坂幸子委員からセクハラ、パワハラなどのハラスメント事例だけではなく、日本に多い地震や台風などの自然災害に対する危機管理についても説明があり、皆さん熱心に耳を傾けていました。

閉会後の祝賀交流ミニパーティでは奨学生ひとりひとりから日本語での自己紹介とそれぞれのカウンセラーからの励ましの言葉があり、奨学生の皆さんにとっては緊張の一日となったことでしょう。

今後は世話クラブへの定期的な出席と奨学金の受領、卓話訪問や奉仕活動への参加等で学業以外にも多忙な日々が予想されますが、健康に留意して青森県での学生生活をエンジョイしてほしいと思います。卓話訪問で皆さんの例会にお邪魔した際には温かく迎えていただきたくお願いいたします。

(別表1)

米山奨学生氏名	出身国	大学	カウンセラー(世話クラブ名)
胡 偉静(コ イセイ)	中 国	弘前大学	奈良真喜子(弘前RC)
宋 双(ソウ ソウ)	中 国	弘前大学	佐藤玲恵子(弘前西RC)
張 智彪(チョウ チヒョウ)	中 国	弘前大学	成田 学(弘前アップルRC)
李 昌燁(イ チャンヨブ)	韓 国	青森大学	川浪 剛功(五所川原RC)
孫 開新(ソン カイシン)	中 国	青森大学	早坂 知行(弘前東RC)
グエン ハイ ユエン	ベトナム	青森中央学院大学	須藤 朗(野辺地RC)
グエン ミン ドゥック	ベトナム	青森中央学院大学	本堂きみゑ(青森モーニングRC)
レ, ツー ガー	ベトナム	青森中央学院大学	野坂 幸子(野辺地RC)
レー アン ドゥック	ベトナム	青森中央学院大学	高井 孝治(つがるRC)
蕭 逸賢(ショウ イッケン)	台 湾	青森中央学院大学	佐藤 一尚(青森RC)
シーニティワット, ヨーシター	タ イ	青森中央学院大学	石川佳共子(青森RC)





インターシティ・ミーティング開催報告

中グループIMを開催して

テーマ みなとまち・あおもり誕生400年
「映像で蘇る明治・大正・昭和」

中グループガバナー補佐 蝦名 正治
(青森北東RC)



2025年3月29日(土)ホテル青森3階孔雀の間に於いて中グループ合同例会並びにインターシティミーティングが花田勝彦ガバナーをはじめバストガバナー・他グループのロータリアンの皆様をお迎えし総勢約80名参加のもと開催されました。年度末にも拘らずご参加賜りましたロータリアン同志の皆様方には心より感謝と御礼を申し上げます。

まず、第一部中グループで本年度逝去されたロータリアンに黙とうをささげた後、恒例となっております合同例会の開催です。ホストクラブ青森北東ロータリーの本間義悦会長の点鐘でスタートし会長報告、幹事報告と北東ロータリーの例会スタイルで進行させて頂きました。最後にこれも恒例となりました各クラブ会長から新入会員の紹介を頂き合同例会は無事終了致しました。

第二部はIMの開会です。今年度のテーマは中グループ4クラブが所在する青森市が本年「みなとまち・あおもり誕生400年」の記念すべき年に当たることから、その400年の歴史の中の特に近現代に光をあて、「映像で

蘇る明治・大正・昭和」の青森市を振りかえってみることに致しました。

講師は、青森古写真研究所を主宰、あおもり歴史の庵「奏海」の会会長相馬信吉氏にお願い致しました。相馬信吉氏は1951年青森県弘前市生まれ。早稲田大学第一文学部(日本史学専修)卒。青森県教育委員会で埋蔵文化財分野や県立郷土館学芸部門を担当、定年後青森古写真研究所を主宰、

青森空襲の貴重な記録写真を整理保存する他最近では東奥日報1面に取り上げられた現存する「青森ねぶた」の写真の中で最も古いと思われる明治初期から中期の写真を発見するなど活躍されている方です。

講演冒頭、相馬先生から青森市は大空襲で焼失したことを理由に何も残っていないという人が多いが、よくよく探してみると歴史的に貴重な物があちらこちらに残っていることに気が付いていない、またせっかく残っている貴重な物を簡単に壊してしまう文化があり残念であるという提言がありました。いきな





り中グループのロータリアンの方々には耳が痛いスタートとなりましたがその提言は講演を進めていくうちに映像や写真に映し出された場所・建造物・構造物などからよく理解できることとなりました。

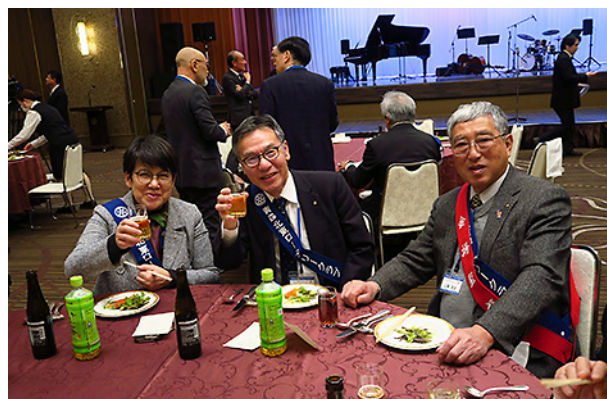
1枚目の写真は前述した新聞で取り上げられた明治初期から中期の「青森ねぶた」の写真でした。200インチのスクリーンに映し出されるとさすがに迫力があり現在のねぶたが比べ物にならないほどの大きさに圧倒されました。また、明治大正の青森駅の様子や現青森高校が今の合浦公園の野球場にあった様子、昭和初期の卒業式の動画などよくこんな古い物を集めたなと感心させられました。そして何といっても圧巻だったのが青森市出身でアメリカ在住の方から送られてきたという、昭和15年の戦前に青森市柳町通りでの「雪切り」場面を写し取った動画です、出席者一同驚きの声が上がっていました。相馬先生には青森市に対する提言や古い貴重な映像そして古写真を通して私たちが生まれ育った素晴らしい街「みなとまち・あおもり誕生400年」にふさわしいご講演をいただいたことに心より感謝申し上げます。因みに2025-26年度米谷年度の地区スローガンが「ロータリーの不易流行」と聞いて今回のテーマと重ね合わせた方も多かったのではと感慨深いものを覚えました。

第三部は楽しい懇親会です。西 秀記青森市長も駆けつけご祝辞も頂きました。乾杯の前には、本年青森市で開催される第28回国際ロータリー日本青少年交換研究会青森大会の実行委員長、岡山信広ガバナーノミニー・デジグネートからの広報スピーチがありまし



た。そしていよいよ乾杯です。米谷恵司ガバナーエレクト(自称 乾杯連盟会長)の乾杯・乾杯・乾杯のかけ声で懇親会はスタートとなりました。アトラクションでは「KOMATSU YUMIトリオ&さくら」の素晴らしい演奏と歌声に会場は最高の盛り上がりを見せておりました。懇親会の中で私が印象的だったのは、講師の相馬先生と名刺交換をするロータリアンの方が非常に多く講演内容の関心の高さを伺わせる一場面でした。途中次期中グループガバナー補佐森内忠良さんの紹介と進み、中締めとなりました。音頭はバストガバナー沼田 廣氏です。締めにふさわしいテンポのよい挨拶と三本締めでめでたくお開きとなり、恒例の「手に手つないで」の合唱です。参加者全員が輪となりロータリアンの絆を確認しあい予定通り無事終了となりました。

結びになりますがこの度のIMの開催にあたりホストクラブである青森北東ロータリークラブ本間義悦会長はじめ上野浩之実行委員長及び実行委員会の皆様には、多大なるご協力を賜りこの場をお借りし感謝と御礼を申し上げ中グループIMの報告といたします。





各クラブの動き

十和田ロータリークラブ創立65周年記念式典 開催報告(2025.4.5)

十和田ロータリークラブ

会長 漆畑 善文



このたび、私たち十和田ロータリークラブは、創立65周年という大きな節目を迎え、4月5日、十和田市内にて記念式典を盛大に開催いたしました。このような節目の式典を開催できたことは、地域の皆様、そして日頃よりご支援を賜っておりますロータリアンの皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。

当日は、青森県内外から多くのご来賓、地区内クラブの皆様にご臨席いただき、温かく、そして誇り高い雰囲気の中で式典を執り行うことができました。記念講演やクラブの歴史を振り返り、そしてメンバー一人ひとりによる活動報告など、多彩な内容を通じて、65年

間の歩みとこれからの未来に思いを馳せる時間となりました。

この式典の準備・運営を通じて、私は改めて「クラブが一つになった」と強く感じました。準備段階では、役員のみならず、会員全員が役割を持ち、積極的に協力し合う姿が見られました。それぞれが自分ごととして捉え、式典の成功に向けて一丸となる姿勢は、まさにクラブの絆と団結力を象徴するものでした。こうした過程そのものが、私たちのクラブの誇るべき文化であり、未来への原動力だと感じております。

また、式典当日はその結束の成果が如実に現れた日でもありました。多くの来賓の方々



から「十和田クラブの一体感が伝わってきた」「会員の皆さんが楽しそうにしていたのが印象的だった」といったお言葉をいただきました。これは、クラブの内側だけでなく、外に向けても私たちの“強さ”を示す機会となった

ことを意味していると実感しております。65年という年月の重みと、地域に根差した活動の確かな積み重ねが、今回の式典を通じて伝わったのではないかと思います。

今後も、70周年、さらにはその先を見据え、地域社会に貢献できる活動を地道に、そして力強く続けてまいります。世代を超えて、ロータリーの精神を次の会員へと繋ぎながら、より魅力あるクラブを目指して進んでいく所存です。

最後になりますが、本式典の開催にあたりご支援・ご協力を賜りました皆様、そして共に歩んでくださったクラブメンバー一人ひとりに心より感謝申し上げます。





各クラブの動き

十和田東ロータリークラブ創立60周年記念式典 開催報告(2025.4.12)

十和田東ロータリークラブ
60周年実行委員長 欠畑 茂治



2024～2025年度 十和田東ロータリークラブテーマ
「チャンス・チェンジ・チャレンジ そして共に・・・」
十和田東RC創立60周年テーマ
1965.2.14 Service Above Self【超私の奉仕】
ー世界でよいことをしよう・地域でよいことをしようー
トークセッションテーマ
「世界でよいことをしよう・地域でよいことをしよう」

2025年1月15日午後8時、60周年実行委員会閉会間際、田中会長が体調に異変を訴え、緊急搬送されてから、早や3か月。議論を重ねた結果、田中会長の想いを体現するためにも、60周年関連の事業は実施するということになりました。4月12日RI2830地区花田勝彦ガバナーを始めとする多くのパストガバナー、エレクト・ノミニー・デジグネート、地元のカウンターパートである櫻田百合子十和田市長・十和田商工会議所今泉会頭、奉仕団体のリーダーの皆さま、地区内の多くのクラブメンバー、そして何より、スポンサークラブである十和田RC・三

沢RC・八戸RC・八戸東RCの会長のご臨席を賜り、式典・記念事業トークセッション・祝賀会が無事終わることができました。本当にありがとうございます。また、当クラブが姉妹クラブを結ぶ羅東扶輪社陳明鴻社長はじめとする23名のデリゲートの皆さんと締結50周年を祝うことができました。重ねて感謝申し上げます。

さて、今年度我がクラブは、60周年Year、田中会長の強く頼もしいリーダーシップのもと、4つの重点項目 1. 創立60周年記念事業の達成 2. ロータリーを楽しもう 3. 会員増強をしよう 4. 地域に出ようを掲げ、十和田東RCらしく、運動・活動を展開してきました。会員増強も、無補充の職業分類を再度見直し、人間力の高い田中会長と照井幹事が率先して動き5名120%拡大ができました(内女性3名)。不確実性の高い時代を好機ととらえ、自らが変わり、積極的変化に挑戦する姿を田中会長は率先垂範し、我々メンバーに背中を見せ続けました。病に伏す田中会長の想いを胸に我々メンバーは、この60周年の節目の年をゴールとするのではなく、あくまでも通過点とし、【超我の精神】を胸に刻みつつ、次の70年・100年へ向け、世界でこのまちでよいことをし続けてまいります。

結びに、トークセッションでのスピーカー、我々が支援してフィンランドに留学した竹田つづらさんが話した言葉を紹介し、筆をおきます(昭和！)。

「愛の反対は憎悪ではない、無関心であるーマザー・テレサー」





会員動向

【入会者】



鳥谷部 和也
(七戸)
3月6日入会



上明戸 華恵
(十和田東)
3月27日入会



小笠原 司
(十和田八甲)
3月1日入会



小倉 五湖
(板柳)
3月1日入会



澤田 泰子
(板柳)
3月1日入会



川岸 淳子
(青森モーニング)
3月1日入会



福士 晴也
(青森モーニング)
3月18日入会



島守 英樹
(八戸)
3月12日入会

【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
むつ	小野 麗華	3月31日
三沢	蒔苗 豊	3月31日
青森	久保田 直樹	3月31日
青森	古川 勉	3月31日
青森	今野 繁	3月31日
青森	藤本 将人	3月31日
青森	本谷 祐介	3月31日
青森	山口 尚孝	3月31日
青森	芳村 浩次	3月31日
青森モーニング	八島 勝	3月31日
八戸東	青森 宗一郎	3月7日

【米山記念奨学会寄付】

<米山功労者>



大黒 博
 (七戸)
 第11回
 メジャードナー



2025年3月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	3月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	3	98.00	51 (9)	0 (0)	1 (0)	50 (9)	2 (1)	50 (9)	2 (1)	2 (1)	27.45
	野辺地	4	84.28	13	0	0	13	2	13	0	0	100.00
	七戸	3	72.22	12	1	0	13	2	11	2	0	16.67
	東北	3	77.10	16	0	0	16	2	16	0	0	81.25
	むつ中央	3	61.00	21	0	0	21	0	20	1	0	14.29
	六ヶ所	2	76.00	38	0	0	38	1	32	7	1	26.32
	小 計			151	1	1	151	9	142	12	3	
東第二グループ	三沢	3	61.90	22	0	1	21	1	23	0	2	40.91
	十和田	4	76.00	34	0	0	34	9	34	1	1	32.35
	十和田東	4	45.60	29	1	0	30	5	25	5	0	50.00
	おいらせ	1	67.00	6	0	0	6	0	6	1	1	50.00
	三沢東	3	56.50	35	0	0	35	4	34	1	0	31.43
	十和田八甲	3	65.67	84	1	0	85	1	80	7	2	40.00
	小 計			210	2	1	211	20	202	15	6	
西第一グループ	五所川原	4	53.70	58	0	0	58	6	52	6	0	70.69
	金木	4	81.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鰯ヶ沢	2	64.70	17	0	0	17	2	16	1	0	35.29
	鶴田	2	56.25	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	3	67.00	24	0	0	24	2	25	0	1	45.83
	つがる	3	62.60	33	0	0	33	0	30	5	2	33.33
	五所川原イヴニング	2	44.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小 計			177	0	0	177	19	168	12	3	
西第二グループ	弘前	3	100.00	49	0	0	49	4	45	7	3	51.02
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	1	100.00	10 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (4)	4 (2)	13 (5)	0 (0)	3 (1)	50.00
	板柳	2	91.50	10	2	0	12	2	10	2	0	33.33
	黒石	2	73.00	23	0	0	23	3	20	3	0	47.83
	大鰐	2	65.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前西	2	100.00	33	0	0	33	6	30	3	0	60.61
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	100.00	15	0	0	15	2	16	0	1	73.33
	小 計			158	2	0	160	21	152	15	7	
中グループ	青森	3	73.70	107	0	7	100	10	105	7	12	100.00
	青森北東	3	90.00	21	0	0	21	3	22	0	1	66.67
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	91.70	20	2	1	21	4	21	3	3	59.09
	小 計			154	2	8	148	18	154	10	16	
南グループ	八戸	3	60.50	66	1	1	66	0	65	3	2	40.00
	八戸東	3	100.00	47	0	1	46	0	46	2	2	54.35
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	1	9	0	0	88.89
	五戸	3	91.70	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	2	66.00	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	3	55.80	38	0	0	38	7	38	1	1	52.63
	八戸南 (うち、八戸南さくらエイト)	3	80.00	44 (12)	0 (0)	0 (0)	44 (12)	14 (12)	39 (11)	8 (3)	3 (2)	86.36
	八戸中央	4	47.10	18	0	0	18	4	20	0	2	44.44
	八戸西	3	53.30	35	0	1	34	20	33	2	1	45.71
	小 計			278	1	3	276	47	271	16	11	
合 計 40RC				1,128	8	13	1,123	134	1,089	80	46	52.26

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2024年6月末会員数です

7月1日の会員数は1,098名です

3月末現在の入退会人数です

地区行事予定

2025年5月 青少年奉仕月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(木)		
2	(金)		
3	(土)	憲法記念日	
4	(日)	みどりの日	
5	(月)	こどもの日	
6	(火)	振替休日	
7	(水)		
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)	地区研修・協議会 第17回全国RYLA研究会 広島会議（～11日）	リンクステーションホール青森/ホテル青森 安芸グランドホテル
11	(日)		
12	(月)		
13	(火)		
14	(水)		
15	(木)		
16	(金)		
17	(土)	米山奨学生卓話講習会	ホテル青森
18	(日)		
19	(月)		
20	(火)		
21	(水)		
22	(木)		
23	(金)		
24	(土)	第57回インターアクト年次大会 RLI（～25日）	りんご公園（弘前市） はまなす会館（青森市）
25	(日)		
26	(月)		
27	(火)		
28	(水)		
29	(木)		
30	(金)		
31	(土)	第9回日台ロータリー親善会議 札幌大会	グランドメルキュール札幌大通公園



地区行事予定

2025年6月 ロータリー親睦活動月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(日)		
2	(月)		
3	(火)		
4	(水)		
5	(木)		
6	(金)		
7	(土)	第28回日本青少年交換研究会 青森会議（～8日）	リンクステーションホール青森ほか
8	(日)		
9	(月)		
10	(火)		
11	(水)		
12	(木)		
13	(金)		
14	(土)	東第1・第2グループ合同IM RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）（～15日）	サン・ロイヤルとわだ 青森公立大学
15	(日)		
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)		
20	(金)		
21	(土)	ロータリー国際大会（～25日）	カナダ・カルガリー
22	(日)		
23	(月)		
24	(火)		
25	(水)		
26	(木)		
27	(金)		
28	(土)		
29	(日)		
30	(月)		

地区ホームページ更新のお知らせ

当地区のホームページ(※ダウンロード方法)におきまして、「2008-09年度ROTARYスタイルガバナーメッセージ集」を掲載いたしました。

本集には忘れてはならない大事なメッセージが沢山込められております。

お時間がございましたら、是非お読みください。

URL:<https://www.rid2830.org/download>

(※トップページ>ロータリー情報>その他・ダウンロード>その他資料ダウンロード)



みなさんのロータリー活動をご紹介します ~記事投稿のお願い~

(提出先は地区事務所まで、締め切りは毎月24日)

編集後記

去年の夏のこと、我が家の小さな庭の一角に、妻の勧めでミニトマト(プランター)を育てていた時でした。その日、縁側で観察日記(娘のミニトマトのプランター)の宿題をしていた娘は、何故か途中で止めて遊び始めていました。理由を聞くと観察方法が分からないと言ったので、私は簡単な観察教室を開いてあげようと考えました。娘は以前から観察する事自体は好きだったので、後は興味を持ってくれるかどうかでした。

手初めに葉や花、実の中から2つ選ばせて、触る、見る、嗅ぐ事をさせました。そして更に、電子顕微鏡で細かい所を観察させると、娘は目を輝かせて「葉っぱの毛がトゲトゲしていて、キラキラしているね!!」と興味津々。その後、タブレットで予め撮っておいた写真を見ながら一緒に下絵を描き、色を塗り、観察して感じたことを確認しながら日記を書き終えました。何とか大仕事をやり切った娘は、満足した様子で次は何を観察しようかな?と興味を持っていていました。私も父親として、伝えたい事が少しは伝わったのかな?と、次に繋がって嬉しかったです。その後、娘たちが私の所にやって来て、「パパは、こせいかがやくロータリーのひと?」と予想外の質問をして来ました。

「そうだよ。パパは、ロータリーの人だよ。」と少し驚きつつ答えた私の言葉を「そうなんだね!!」と素直に受け取った娘たちは、いつの頃からか私の本業を何故かロータリーだと勘違いするようになりました。

これが親の仕事に対する娘たちの素直な反応であっても、見方を変えれば「ロータリー効果」があったのではないかと感じました。そう思ったのは、私がロータリー観を伝え続ける限り2人の成長の証として残って行く事を考えれば、むしろ、本業よりもロータリーに多くの関心を持った方がいいと思ったからです。それは娘たちの将来にとっては良いはずで、素直に喜ぶべき「勘違い」ではないでしょうか。

「あなたの勘違いだよ」と言われるかもしれませんが、娘たちの「ロータリー」がスタートした瞬間かも知れない?と思った、そんな休日のひと時でした。これからも私自身だけでなく、周囲にも効果が広がるように本業もロータリーも頑張りたいと思っています。

皆さまにも、その様な小さな喜び「ロータリー効果」はありましたでしょうか?

ガバナー月信 編集後記担当 増田 卓也
(五所川原ロータリークラブ)